

年 組 名前:

### 甲府でシンポ 予報士・木原さん講演

木原さんは講演で、1875年に気象観測が始まったことや、気象予報士制度について解説。ニュース番組では子どもも理解できるように分かりやすく伝えることを意識し

日本ネットワークサービス（NNS）気象情報室開設5周年と山梨放送開局70周年を記念して開催。講演のほか、木原さんとNNS気象情報室シニアアドバイザーの北野芳仁さん、YBS・NNSの気象キャスター宮田雄一朗さんによるパネルディスカッションが行われた。

パネルディスカッションは「山梨の気象を考える」がテーマ。北野さんは山梨の気候の特徴について、「盆地では暖められた空気の逃げ場がなく、夏の気温が上昇しやすい」と説明した。

「防災士の資格を持つ木原さんは「温暖化で災害が増える

# 災害対応「気象情報参考に」

気象変化に対する暮らしの備えなどを気象予報士と考えるシンポジウム「山梨の気象」を考える」が18日、甲府・YCC県民文化ホールで開かれ、日本テレビ系列のニュース番組「news every」の気象キャスター木原美さんが「暮らしの中の気象情報」と題して講演した。木原さんは「気象情報を参考にしながら、災害から身を守るためにどうすればいいか考えてほしい」と話した。

〈鈴木なつ美〉

可能性がある。洪水や浸水から身を守るために、どうすればいいか考えてほしい」と呼びかけた。シンポジウムには約200人が参加した。

(2023年11月19日付 山梨日日新聞16面)

#### 問1

気象キャスターの木原さんが、シンポジウムで講演しました。

ニュース番組では、何を意識していると話しましたか。

.....  
.....

#### 問2

2015年ごろからの天気予報は、以前と比べると、どのように変化していききましたか。

.....  
.....

#### 問3

シニアアドバイザーの北野さんは、やまなしの気候の特徴を、どのように説明しましたか。

.....